

## ジャポニズム学会シンポジウム「ジャポニズムの時代の黄金期における日本の芸能公演と西洋の芸術家たち：ある国際文化交流の実例か？貞奴や花子をめぐって」参加報告

[https://www.mfj.gr.jp/agenda/2021/01/30/japonisme/index\\_ja.php](https://www.mfj.gr.jp/agenda/2021/01/30/japonisme/index_ja.php)

2021年1月30日(土)10:00~17:30 オンライン開催(日仏同時通訳付)

発表者：井川繭子、参加者：武藤祥子

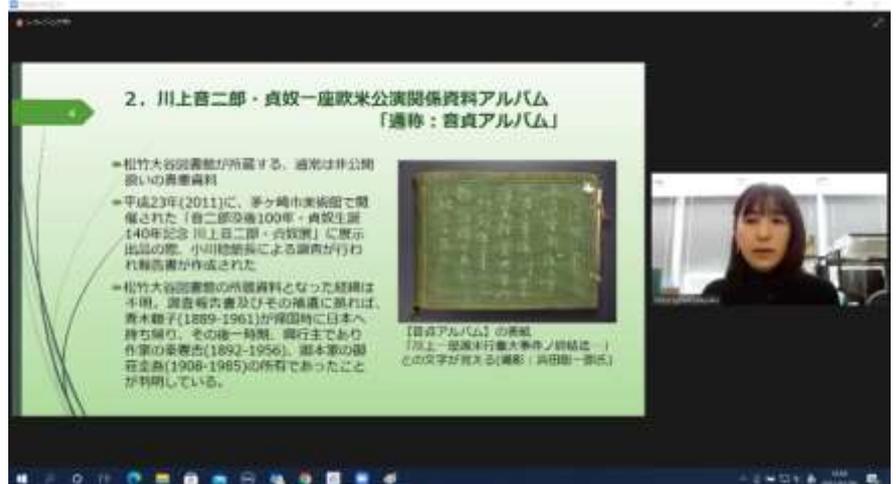
昨年の秋、松竹大谷図書館は[《松竹大谷図書館特別資料閲覧システム》](#)にて「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム」(通称「音貞アルバム」)のweb上での一般公開を開始した。システムの開発・制作を行った立命館大学アート・リサーチセンターのHPでもご紹介していただいたところ、さっそくジャポニズム学会の海外の研究者より、シンポジウムで音貞アルバムの紹介をしてほしいとのお誘いがあり、今回参加させていただくことになった。当初は日仏会館ホールでの開催が予定されていたが、緊急事態宣言下ということでZOOMを使用したオンライン開催となった。全体の構成としては、午前中に3つ、午後に4つの発表があり、それぞれに質問時間と、発表の最後にディスカッションの時間が設けられていた。そして最後にはパフォーマンスのビデオ上演もあった。

当館の発表は午後一番目で、発表タイトルは「松竹大谷図書館の特別資料閲覧システムについて 音貞アルバム：貞奴(1871-1946)と川上音二郎(1864-1911)：アメリカとヨーロッパのツアーに関する貴重資料」である。

発表では、当館の簡単なお紹介から始まり、川上音二郎と貞奴が明治32年より33年にかけて行った欧米興行に関する資料、手紙や葉書・新聞記事・写真などが貼り込まれているアルバムの内容について、図版を使ってご説明した。そしてこのアルバムの修復とデジタル化を計画し、2018年のクラウドファンディングでその資金を募集したこと、実際の修復作業やデジタル撮影の様子などをご説明し、閲覧システムの使い方についても少しご紹介した。そして発表の最後にはまとめとして、今回デジタル化して公開することによって再認識することができた音貞アルバムの資料的価値について、次の3つの点を挙げてみた。第1に、明治という新しい時代に生まれた新演劇「新派」の祖とされ、日本演劇の近代化に大きな役割を果たした川上音二郎と、その妻で日本の近代の女優第一号とされる貞奴一座の欧米公演の記録、つまり演劇資料として大変貴重であるということ。第2に、このアルバムの持ち主だった青木鶴子(音二郎の姪で欧米興行に子役として同行していた)は、のちにハリウッドで映画女優として活躍し、映画俳優早川雪洲の妻となった人物で、彼女の少女時代を記録した、映画資料としても貴重なものであるということ。第3に、川上音二郎・貞奴一座を支援し、鶴子を養女に迎え、彼女のために一座の記録をアルバムに残したサンフランシスコ在住の日本人画家青木年雄の記録が残る、美術資料としての側面もあるということである。この第3の点については、今回のシンポジウムで発表する機会をいただいたことで気付いたことである。美術専門の研究者の方々によると、青木年雄についてはまだよく知られていない点が多いとのことなので、これからの研究にこのアルバムが少しでもお役に立てば幸いである。そして当館としては、研究の成果をデータベース上の書誌情報などに反映させて内容を充実させ、このデータベースを将来的にも成長させていきたいと考えていることを述べて発表を終えた。

当初は、研究者の方々の専門的な発表の中に、資料紹介という当館の発表内容が相応しいのだろうかとの心配も抱いていたのだが、司会の先生方が補足説明をして下さったり、参加者の方からクラウドファンディングについての質問も出たりして、興味を持って聞いていただけたようで良かった。今回のシンポジウムは個々の研究発表もそれぞれ興味深かったが、一日の発表を通して聞くと、テーマであるパフォーマンスとしてのジャポニズム、の流れが辿れるように構成されていたのも面白く、充実した内容だったと思う。

司会を始め関係者の方々には大変お世話になったが、オンライン開催だったため、打ち合わせから本番まで一度も直にお会いすることがなかったのがやはり残念であった。しかも今回は日仏同時通訳付きだったので、通訳者の予習用として事前に発表概要や参考資料、パワーポイントの提出を求められたのも新鮮だった。また、当日は常に100名前後の方が参加して下さり盛会だったが、これも画面の下に表示される人数で見えるだけなので、話していても臨場感があまりなく、実際の会場での発表とは感覚が違ふと思った。今後はこうしたオンライン開催が増えることと予想されるが、今回の貴重な経験を生かして機会があれば積極的に参加していきたいと思う。



ZOOMによる発表で音貞アルバムを紹介中

## ≫≫ お知らせ

### ■「デジタルアーカイブ」のページを当館 HP に新設いたしました

当館の HP に、これまで、歴代のクラウドファンディングで、皆様のご支援によりデジタルアーカイブ化を進めて Web で公開してまいりました各種データベースへのリンクを、より見やすくまとめた「デジタルアーカイブ」のページを新設いたしました。

▽「デジタルアーカイブ」のリンクページはこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/da/da.html>

当館 HP のトップページに、青いバナーがありますのでこちらからもご利用いただけます。

▽松竹大谷図書館 HP はこちら

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

以下が、立命館大学アート・リサーチセンターのサーバーで公開しているデジタルアーカイブの一覧です。ぜひご活用下さい。

#### ●デジタルアーカイブ

1. 義太夫正本検索閲覧システム ([https://www.dh-jac.net/db1/books/search\\_shochiku.php](https://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochiku.php))
2. 芝居番付検索閲覧システム ([https://www.dh-jac.net/db1/ban/search\\_shochiku.php](https://www.dh-jac.net/db1/ban/search_shochiku.php))
3. GHQ 検閲台本検索閲覧システム ([https://www.dh-jac.net/db1/books/search\\_shochikudaihon.php](https://www.dh-jac.net/db1/books/search_shochikudaihon.php))
4. 組上燈籠絵検索閲覧システム ([https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search\\_shochiku.php](https://www.dh-jac.net/db/nishikie/search_shochiku.php))
5. 特別資料閲覧システム(「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料アルバム」) [https://www.dh-jac.net/db1/resource/search\\_sol.php](https://www.dh-jac.net/db1/resource/search_sol.php))

#### ●データベース

新派上演年表(戦後) ([https://www.dh-jac.net/db/nenpyo/search\\_shinpa.php](https://www.dh-jac.net/db/nenpyo/search_shinpa.php))



### ■■■ ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展関連資料をご紹介します ■■■■■■

現在当館閲覧室では、ミニ展示「歌舞伎座チケット袋」展を開催中ですが、現在、前日までの予約制でご利用頂いているため、展示の観覧につきましてもご不便をおかけしておりますので、ニュースレターでも「歌舞伎座チケット袋」展の関連資料をご紹介します。今回は戦前の資料です。



左の写真は、大正 14[1925]年 4 月 26-29 日に催された「日露交響交響管絃楽大演奏會」の一等特別三割引券とその袋です。日露修好記念事業として催された演奏会の割引券で、山田耕筰、近衛秀麿が指揮者をつとめました。この資料からわかるように大正 14[1925]年 1 月に新築開場した第三期歌舞伎座にはオーケストラが演奏できる設備がありました。同年 5 月発行の雑誌『歌舞伎』創刊号(歌舞伎座内歌舞伎発行所)では第三期歌舞伎座の内部について、「歌舞伎座の建物に就いて」と題した文を 5 ページにわたり掲載し、オーケストラのための設備についても「オーケストラは前部の座席をはずして組立てるので、大中小の三種類あつて、最も大きなオーケストラには百二三十人からの楽手が入れます。」とあります。また、同誌ではこの演奏会についての写真付きの記事や新聞評も掲載しています。

右の写真は、昭和 7[1932]年 6 月公演のチケットです。左側に緑のインクで「一部二部通し」の判が押し印されています。この月は「昼夜二部制」が採用された興行で、『歌舞伎座百年史 本文篇上巻』によると、この興行について「昼夜二部制興行という新しい興行形式が歌舞伎座で採用されることになり」と記述があり、これは一日一回の長時間興行であった従来の興行形式を改め「短い時間で顔揃いの芝居を安く見せる」という主旨で、入場料も従来の約半額に設定した試みでした。筋書によると「御観劇料」は一等席が第一部 3 円 50 銭、第二部が 4 円 30 銭、「一部二部通し」だと 6 円 80 銭とあります。前の月の一等席が 6 円 80 銭でしたので、一部のみ、あるいは二部のみを観劇すると同じ等級の席でも安価で観られるという仕組みでした。



#### ■「歌舞伎座チケット袋」展■

展示期間:2021 年 1/12(火)~3/24(水)※3/3~3/16 春期整理休館

展示場所:松竹大谷図書館 閲覧室

展示をご覧になる場合も、ご予約の上ご来館下さい。※開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館の HP、Facebook の投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。電話:03-5550-1694(平日:10 時~16 時※短縮中)

≫≫ **資料提供** (2020年12月～2021年1月) ※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『歌舞伎特選 DVD コレクション第35号』2020年12月16日アセット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に『元禄忠臣蔵』巖谷榎一演出本を提供／『歌舞伎特選 DVD コレクション第37号』2021年1月13日アセット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に図書 松田青風『鬘』を提供

≫≫ **新着資料案内** 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ **松竹系1月演劇公演資料** ■ ○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『壽浅草柱建』	○	○	○	○
	『猿翁十種の内 悪太郎』	○	○		
	『夕霧名残の正月 由縁の月』	○	○		
	『仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の場』	○	○		
	『菅原伝授手習鑑 車引』	○	○		
	『眠駱駝物語 らくだ』	○	○		
新橋演舞場	『春調娘七種』			○	○
	『歌舞伎十八番の内 毛抜』	○			
	『上 藤娘』『下 橋弁慶』				
松竹座	『お年賀 口上』	○		○	
	『賤の小田巻』				
	『傾城雪吉原』				
	OSK 日本歌劇団『レビュー春のおどり』				
南座	松竹新喜劇『新春ご挨拶』			○	○
	松竹新喜劇『二階の奥さん』	○			
	松竹新喜劇『鴨八ネギ次郎』	○			
	前進座『息子』『茶壺』				
	『古希記念桂南光独演会』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ **他社演劇公演資料 (11-1月)** ■ (順不同)

モノオペラ『ガラシャ』京都府丹後文化会館プログラム、台本/『ナナムル サンバツ THE QUIZ STAGE 0』博品館劇場プログラム/『ピーター&ザ・スターキャッチャー』新国立劇場小劇場プログラム/『DREAM BOYS 2020』帝国劇場プログラム/『オトコ・フタリ』シアタークリエプログラム/花組芝居『地獄變』キンケロ・シアタープログラム/シス・カンパニー『23階の笑い』世田谷パブリックシアタープログラム/ミュージカル『ローマの休日』博多座プログラム/『国立劇場1月歌舞伎公演』国立劇場大劇場プログラム

■ **演劇雑誌** ■

『Confetti』Vol.193/『DRAMA かながわ』81号/『TICKETS GO!GO!』Vol.110/『あぜくら』2021年1月号/『ほうおう』2021年3月号/『テアトロ』2021年2月号/『ミュージカル』2021年1月-2月号/『ラ・アルプ』2021年2月号/『演劇界』2021年3月号/『喝采』2021年3月/『義太夫』111号/『芸劇 BUZZ』Vol.34/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol.34/『国立演芸場公演ガイド』令和3年2月号/『大向う』令和3年2月号/『長唄』128号/『日本芸術文化振興会ニュース』2021年1月号、2月号/『日本劇作家協会会報ト書き』65号/『日本照明家協会誌』2021年1月号/『日本舞踊』73巻1月号、2月号/『墨染会 瓦版』29号

■ **映画雑誌** ■

『FLIX』2021年2月号/『NFAJ ニューズレター』11号/『NFAJ プログラム』No.27/『SCREEN』2021年3月号/『TVガイド』2020年12/11号、12/18号、2020年12/19-2021年1/4号、2020年12/28-2021年1/8増刊号、2021年1/15号/『おとなのデジタルTVナビ』2021年3月号/『キネマ旬報』2021年2月上旬号、2月下旬号キネマ旬報ベスト・テン発表特別号、キネマ旬報NEXT Vol.35/『シナリオ』2021年3月号/『シナリオ教室』2021年2月号/『ドラマ』2021年2月号/『ピクトアップ』2021年2月号/『ムービー・スター』2021年2月号/『映画テレビ技術』2021年2月号/『映画時報』2021年1月号/『映画秘宝』2021年2月号/『月刊ドロキ・ユキコ』42号/『松竹[社報]』221号/『日経エンタテインメント!』2021年1月号、2月号/『友 Iwanami Hall』No.395

■ **映画資料** ■ ○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『43年後のアイ・ラブ・ユー』	○	○	○		
『さんかく窓の外側は夜』	○	○	○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ **映画プログラム** ■ (順不同)

『魅る三大テノール 永遠の歌声』『銀魂 THE FINAL』『ネクスト・ドリーム ふたりで叶える夢』『おとなの事情 スマホをのぞいたら』『約束のネバーランド』『新感染半島 ファイナル・ステージ』『新解釈・三國志』『劇場版ポケットモンスター ココ』『大コメ騒動』『パラサイト 半地下の家族』『ダニエル』『おもいで写真』『心の傷を癒すということ<<劇場版>>』『哀愁しんでれら』

